

海洋環境の保全等の在り方P T 中間報告

(1) 構成員

主査： 古庄 幸一 元海上幕僚長
 参与： 河野 真理子 早稲田大学法学学術院教授
 佐藤 慎司 東京大学大学院教授
 鷺尾 圭司 独立行政法人水産大学校理事長

外部有識者：

生田 和正 国立研究開発法人 水産総合研究センター 研究推進部長
 岡田 知也 国土交通省 国土技術総合政策研究所
 沿岸海洋・防災研究部 海洋環境研究室長
 兼廣 春之 大妻女子大学 家政学部 被服学科 教授
 越川 海 国立研究開発法人 国立環境研究所
 地域環境研究センター 海洋環境研究室長
 白山 義久 国立研究開発法人 海洋開発研究機構 理事
 田島 芳満 東京大学大学院 教授

(2) 本P Tにおける検討事項

昨年度、本P Tにおいて、海洋環境分野全般の状況や課題に関する議論を通じ、以下の4項目の重要検討課題を取りまとめた。

- ① 国際的な課題への対応：国際貢献への積極的な取り組み等
- ② 新たな海洋開発と環境保全の調和：環境保全に資する研究・開発の推進等
- ③ 海洋汚染防止と沿岸海洋環境保全：豊かな海の実現に資する沿岸環境の再生等
- ④ 防災と沿岸環境保全：陸域と一体化した沿岸域の管理等

今年度は、将来に向けた具体的な提言をまとめていくため、実例に基づき、論点を明確にして検討する必要があることから、開発・利用をはじめとする人為的な活動が活発で、データの蓄積も比較的なされている沿岸域を対象として、上記項目のうち③及び④について優先的に検討を行う。

(3) 本P Tの検討スケジュール

平成27年

6月25日(木) 第1回P T
 ・ P Tの進め方について
 ・ 外部有識者の選任について

8月7日(金) 第2回P T
 ・ 外部有識者紹介
 ・ 漂流・漂着・海底ゴミ問題について

- ⇒外部有識者から、海ごみ問題の現状と課題、海岸漂着物処理推進法に基づく取組みについて、説明があった。
- ⇒漂流・漂着ごみ対策予算について、環境省の説明を聴取。

10月14日
(水)

第3回PT

- ・漂流・漂着・海底ゴミ問題について
- ・陸域と一体化した沿岸域の土砂管理について
- ⇒海ごみについて、目的別関連施策を事務局から説明
- ⇒土砂管理について、沿岸域の土砂管理について国土交通省の説明を聴取、外部有識者から、海岸土砂の変化が水産生物与える影響について、説明があった。

11月20日
(金)

第4回PT

- ・陸域と一体化した沿岸域の土砂管理について
- ・栄養塩の管理について
- ・報告書の骨子案について
- ⇒土砂管理について、沿岸域の土砂管理について前回PTの議論を踏まえた国土交通省の説明を聴取、外部有識者から、沿岸域のモニタリングについて、説明があった。
- ⇒栄養塩の管理について、外部有識者から、水産生物の生産量と水質の関係、閉鎖性水域における総合的水質管理、水質総量削減制度による海域の栄養塩管理について、説明があった。
- ⇒報告書の骨子案を基に、とりまとめの方向性について議論を行った。

平成28年

1月18日(月)

第5回PT

- ・国際貢献並びに沖合域及び深海底における環境保全について
- ・報告書案の検討

2月

第6回PT

- ・報告書の取りまとめ